

ご挨拶

関西大学探検部部長

関西大学社会学部教授 杉原 弘人

関西大学探検部は昭和33年の創設以来、長年にわたり探検技術を錬磨し、国内海外を問わず幾多のフィールドに探検活動を行い、数々の成果を上げてきました。

特に河川をフィールドに活動したものとして、北アルプス黒部川、アメリカ合衆国コロラド河、富士川と信濃川による日本横断、ミシシippi川とマッケンジー川を結ぶ北米大陸縦断航行などがあります。

そして、今度、念願であった中国大陸での活動の機会を得ました。しかも幸運にも首漂権を伴った遠征隊「関西大学岷江ゴムボート航行隊」が実現したのであります。遠征隊は我が部の英智を集め、綿密な計画と周到な準備で進められました。

しかし、誠に遺憾ながら、計画もほぼ終わりに近づいた昭和62年6月26日、隊員村上哲也君を転覆事故で失ってしまったのです。この事故は我が部にとって大変な衝撃であり、残念至極であります。

関西大学岷江ゴムボート航行隊の派遣実現に導いていただいた多くの方々をはじめ、遭難事故発生後搜索活動にご尽力いただいた方々、さらには事故処理や事故の再発防止のためにご指導ご鞭撻をいただいた方々に「事故報告書」としてここにご報告させていただきます。

今後はこのような事故を二度と絶対に繰返さぬよう、教訓として肝に銘じ、部員、OB、顧問が一丸となって努力いたします。

最後に故村上哲也君のご冥福を心からお祈りします。